

### 第3回理事会議事録

(財)神奈川県スキ - 連盟

1. 日 時 平成11年 9月 8日 (水) 19時 ~ 21時
2. 場 所 神奈川県社会福祉会館 101会議室
3. 出席理事 会長：河野 洋平、副会長：片岡 春夫、小林 幹夫、広瀬 稔、  
専務理事：山田 隆、  
常務理事：片 忠夫、水島三千夫、三塚 康雄、勝又 敬夫、  
理 事：越前谷芳隆、早川博基、平沢幸一、柁 一成、上田 英之、  
本田 衛義、渡辺 三郎、山本 英雄、菊地勇二、小山 正治、  
工藤 政蔵、三井田俊彦、菊地富士夫(原理事数22名)  
うち委任：河野 洋平、片 忠夫、工藤 政蔵 (3名)
- 出席監事 岩崎 義隆、井駒 利一
- 出席参与 なし
4. 議長選出 山田専務理事を選出
5. 議事録署名人選出 越前谷芳隆、早川 博基理事を選出
6. 書 記 中野善次郎委員に委嘱
7. 議 事

#### 1. 教育本部関係

##### (1) 報告事項

###### ア. 基礎スキ - 功労会員の推薦について

三塚教育本部長から、教育本部資料に記載の通り(財)全日本スキ - 連盟に功労指導員2名功労準指導員3名を推薦した旨の報告をしたところ了承した。

###### イ. 諸会議等報告

三塚教育本部長から、次の各事項について総務本部資料の各事項のとおり会議報告及び行事予定等について、実施及び開催を予定している旨の報告をしたところ了承した。

###### ウ.(ア) S A J 教育本部専門員について(11. 8.29~31)

会議内容については、諸問題もあるので専門委員会を開いて随時報告する。

(イ) B級指導員資格移行講習会について(11.11.3)

(ウ) 日赤救急員講習会開催について(11. 9.23~25)

(エ) 準指導員検定会受験資格の一部変更について

##### (2) 審議事項

###### ア. 指導員要請講習会について

渡辺教育本部理事から、教育本部資料のとおり、一般会員の受講料について、受験者と同額の5,000円とする案について審議したい旨をはかったところ異議なく承認。

###### イ. 基礎スキ - 技術強化合宿の参加料について

渡辺教育本部理事から、教育本部資料のとおり、一般の有資格者の参加を募集することとした参加料について、5,000円とする案について審議したい旨をはかったところ異議なく承認した。

#### 2. 競技本部関係

##### (1) 報告事項

###### ア. 諸会議行事報告

菊地競技本部理事から、次の各事項について総務本部資料の各事項のとおり会議報告について開催した旨の報告をしたところ了承した。

(ア) 第3回・4回競技本部会(11.8. 1・11. 8.21)

(イ) アルペンジュニアコ - チセミナ - (11.9. 4)

イ．平成11年度競技力向上対策事業費二次配分内示について

三井田競技本部理事から、総務本部資料のとおり、県体育協会から内示額が提示され、アルペン及びノルディックの行事にあてる旨の報告をしたところ了承した。

ウ．アジアジュニアチルドレン冬期スキ - 大会について

菊地競技本部理事から、競技本部資料のとおり、日本の選手専攻ならびに派遣について、今年度から各ブロック持ち回りで日本代表の選手として派遣することになり、南関ブロックからアジアチルドレンに選手を派遣することとなった旨の報告をしたところ了承した。

(2) 審議事項

ア．平成10年度最優秀選手表彰について

菊地競技本部理事から、競技本部資料のとおり、表彰対象者の選出について説明があり、4名の選手を選出することについて審議したい旨の提案をはかったところ異議なく承認した。なお、ワールドカップ等の出場選手を対象とする選考基準について検討することとした。

イ．競技本部専門委員会規程について

菊地競技本部理事から、競技本部資料及び規程案のとおり、専門委員会規程を定めて専門委員の活性化をはかることについて説明があり、検討を重ねて規程化したい旨の提案をはかったところ、山田専務理事から次について提起があり了承した。

専門委員その他の役割分担の明文化について提案があり、各本部の専門委員ならびに各委員会の約束事、セクションが独走する執行のないように小委員会を作り検討を進めて行く必要がある。

ウ．スノ - ボ - ド級別テスト開催について

小山競技本部理事から、競技本部資料のとおり、指導員が誕生しスノ - ボ - ドの級別テストが行える状態になり、各協会等で開催するための申し込み要領である旨の説明及び提案をはかったところ承認した。

エ．南関東ブロック主管事業持ち回り年数の変更について

山田専務理事から、競技本部資料のとおり、1年毎に持ち回りしていたものを、すべての役割を2年毎にしてゆくこととし、今年度は千葉県が行うこととした。南関ブロック会議は各本部長の実務者が集まって会議を開催し、副会長以上の会議は年1回開催する旨の説明があり了承した。

オ．スノ - ボ - ド・ボ - ダ - クロス・フリ - スタイルB級大会の進捗状況について

小山競技本部理事から、スノ - ボ - ドは全日本への申請は完了、ボ - ダ - クロスは木島平の牧野入で申請を進めている。フリ - スタイルは150名の出場枠について基準を設けて進める旨の報告があり、逐時報告すると共に会議には専務または常務理事を呼ぶこと了承した。

カ．委嘱状・認定書の作成について

菊地競技本部理事から、競技本部資料の委嘱状・認定書見本のとおり、専門委員及び指定選手等に委嘱状・認定書を作成し交付したい旨の提案をはかったところ、交付する必要があるものとし、県連マ - クを入れて統一した書式を作成することとし、担当は菊地総務本部理事があたること了承した。

3．総務本部関係

(1) 報告事項

ア．慶弔関係

上田総務本部理事から、総務本部資料のとおり、慶弔関係について特に無い旨の報告をしたところ了承した。

イ．資金運用状況

上田総務本部理事から、総務本部資料のとおり、平成11年8月31日現在の資金運用状況に基づいて説明及び銀行の一本化・事務所に近い等の条件を満たした住友銀行を選択し、共通講座を新規に開設した旨の報告をしたところ了承した。

ウ．事務局担当理事について

山田専務理事から、事務局の業務等を潤滑に進めるため総務本部事務局担当理事を任命したい旨の説明及び提案をしたところ了承した。

エ．手続き要領説明会資料について

平沢総務本部理事から、総務本部資料のとおり、一部変更した原稿は校正されていないので正誤表で対応する旨の報告をし、納品された資料を確認のうえ正誤表の原稿を提出することとした。また、16日に協会・クラブの事務担当者宛に発送作業する旨の説明をしたところ了承した。

オ．SAJ事務担当者会議

越前谷総務本部理事から、SAJのインタ-ネットが9月3日に開設されたとの報告がありました。

SAJの競技本部の強化費を8パーセントカットする旨の報告があった。

SAJの検定種目とバッジの変更に伴い調査を行った結果、全国に5万6千個の在庫があり、これらは全部新デザインの物に交換する。また、新規購入する場合は現状価格のままとなるが、送料については各県連で負担して頂くという旨の報告がありました。

スノリ-ト会員について、各県連の個別登録内容をフロップ-でもらえないかという質問が各県連から出たが、一部出せないデータがある。しかし前向きに検討する。

片岡副会長から、スノリ-ト会員になると全日本の大会に出場できるのかという質問が出たが、スノリ-ト会員にはそこまでメリットは無く、割引と案内が送付されるのみである。

カ．県教育委員会について

越前谷総務本部理事から、定例評議員会の議事録等を県教育委員会に提出したとの報告があり、SAKの年度表示について、SAJの年度と表示を合わせたい旨を申し出たが、SAKは4月に新しい年度になり、更にその2ヶ月後の6月に12年度まで持つて行くことは難しい。ただし、SAKから県教委に提出される資料が11年度で有れば、実際の運営上に12年度を使うことは、県教委とSAKの理事会にハッキリとした理解が出来れば構わない旨の報告がありました。

キ．事務局員の土曜日在局について

越前谷総務本部理事から、9月1日より県連事務所は週6日制を実施するとの報告がありました。

山田専務理事より、以前から土曜日でも在局日にしてほしいという話があったので、土曜日を月2回づつ細井さんと伏屋さんに振り分け、どこか水曜日1回を細井さんと伏屋さんを入れ替えあと1回水曜日を双方在局日とする案を2人に提案したとの報告があった。

平沢総務本部理事から、今までは週休2日制だったので土曜の出勤は割り増しだったが、週6日制になったので割り増しにはしない。

ク．河野洋平事務所を通して新規協賛企業

山田専務理事から、河野洋平事務所を通して富士急行より協賛したいという話があり、日本ランドがイエティ-という名称で契約書を交わし、10万円の寄付を受けることとなった報告があった。

(2) 審議事項

ア．移籍転入

榎総務本部理事から、転入5名、団体脱退2団体「Bay racing」(川崎)、「クラブマン・ハ-モニ-」(座間)の報告があり承認した。

イ．有資格者登録

榎総務本部理事から、前期は評議員会時の有資格者登録人数×200円を清算、今期も12年5月末の有資格者登録人数で清算したい旨の報告がありました。

ウ．新規協賛企業について

早川総務本部理事から、富士急行日本ランド「イエティ-」と「ケイ・スキ-ガレ-ジ」が新規協賛企業に加わったとの報告がありました。

エ．平成12年度手続き要領説明会について

平沢総務本部理事から、表紙・行事案内は平成12年度、各行事についても西暦から和暦に変更して掲載している。説明会当日は、役員12時集合、12時30分から受付開始、説明会は13時～17時まで、当日の担務等を発表した。評議員会資料は平成11年度表示、手続き要領資料は平成12年度表示となる。

オ．広報関係

平沢総務本部理事から、SAKだより第41号を年内発刊する旨の報告があり承認した。

ホ・ムベ・ジ並びにスキ・ジャ・ナル誌掲載等については、各行事に行き内容の原稿を作り専務の承認を受けた上で掲載する。10月までは上田理事、11月以降は広報委員の方に引き継ぎ願う。

山田専務理事から、スキ・ジャ・ナル誌としては毎回続けて原稿がもらえれば今後の掲載方法も考えるという旨の報告があった。

雪上行事に関しては今期は広報委員にはボランティアで参加して頂く、開会式等では紹介し、出来得る限りリフト券の補助をして頂きたい。しかし、交通費は個人負担でお願いする。

カ．バッジ調査の結果について

上田総務本部理事から、バッジ調査の結果SAKの総数3506個、ジュニア535個の合計4041個、未だに40団体からの返事が無いので数字が増える可能性がある。

キ．その他

山田専務理事から、片常務理事との話し合いで、登録の件で脱退団体の人が県の役員の権利を失うような例が今後起きるであろう。役員の首をどんどんきらなければならぬ状況も起こりかねない。

片岡副会長から、移籍の申請については元籍の承諾書を添付して申請したものについてはOKとの提案。

山田専務理事が、公益法人である以上、大会に出場するなどスポ・ツをする権利はある。したがって登録できないという排除はできないので、何がしらのル・ルを作らなければならない。

ケ．60周年記念行事について

本田総務本部理事から、案内状・招待状については9月5日現在でほぼ発送を完了した。役員、協会長、クラブ会長など約330名、招待者については県教委、県体協、SAJ、北関東、南関東、山梨、静岡120前後、各クラブのチケット入金状況42件で80枚65万円となっている。現時点で280団体中42団体のみである。功労者の協会推薦者は、横浜40、小田原31、横須賀3、相模原1、茅ヶ崎1、藤沢3、平塚3、鎌倉8、逗子7、大和2、足柄1、座間4、厚木3、津久井2、綾瀬2、愛川1、葉山1となっており、これには現役理事、広報委員が含まれているとの報告があった。

本田総務本部理事から、横浜の佐伯理事長から連絡があり、横浜の身障者施設「なごみ園」で永年にわたり、リハビリを兼ねたスキ・教室をボランティアで引率している「てんぐスキ・クラブ」に特別表彰をして頂きたいという要望があった。

中野実行委員長から、協会推薦者については県連が決定する。県連選考者は理事会で決定して頂きたい。表彰者は過去に同様の内容での受賞者は外している。県連の推薦条件は、役員または各委員を3期6年の経験者で同彰を受けていない者。記念品については、有隣堂で2千円でシャ・ペンを考えている。

広瀬副会長、山田専務理事より、表彰漏れに注意して進めるように指示があった。

片岡副会長より、当日は体育の日であり、河野会長は日本陸連の会長でもあるので河野事務所に早目に確認をとらなければならない。

山田専務理事より、事務所に連絡をとっているがなかなか秘書の方と連絡がつかない。記念誌に掲載する挨拶文をこちら側で作成確認してもらおう事になっている。また、教育本部、競技本部の理事各位に競技本部専門員や教育本部ブロック技術員等は必ず出席するように要請した。

本田総務本部理事から、県の種目別団体についてはどこまで呼ぶべきか、河野会長が会長を務める団体は呼ぶのか？という質問に山田専務理事は、面識がない人も多いので招待者から外すとい事です承した。

片岡副会長より、川崎の協会推薦者は、明日の常任理事会で決定すると報告がある。中野実行委員長から、記念誌については、記録内容や財団法人化等の記事でページをとってしまうことから34ページ(金額724,500円)では足りないので印刷会社と交渉して項数を増大し、カラページは割愛する旨の報告があり承した。現在掲載する本人の住所や所在等を調査中なのでみなさんの協力を求めたいとの要望がある。

#### コ.その他について

水島総務本部長から、県の体育功労者推薦が片岡副会長に決定した事が報告された。水島総務本部長から、SAK理事会議事録署名人について前期は2年間通して三塚氏と三井田氏にお願いしたが、今年度も決めてもらいたい旨の話があり。越前谷理事と早川理事にお願いすることで承認された。

榎総務本部理事から、新規に登録予定で未登録のクラブが6団体ある。横浜5、平塚1であるが、これらについても手続き要領説明会開催案内を発送する。また、今年度は横浜と川崎については別枠で登録手続きを行い、その他の協会は11月15日に登録受付する旨の報告があり異議なく承した。

山田専務理事から、理事会は臨時を除いて年に5~6回しかない、常務理事会は隔月で開催されているが、常務会の事前に各本部長に部会を召集して頂き、各部の意志を集約した形で常務会に臨んで頂きたい。また、各協会並びにクラブ等の声も取り入れて運営にあたりたいとの意見があり、各理事に協力を仰いだ。

#### 4.閉会の言葉

小林副会長より、60周年記念行事が間近に迫って大詰めを迎えているが、期待しているので役員、実行委員の皆さんどうぞ身体にくれぐれも気をつけて頂きたいと激励があった。

以上、この議事録が正確である事を証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成11年 9月22日

議 長 山田 隆 印

議事録署名人 三塚 康夫 印

議事録署名人 三井田 俊彦 印

財団法人 神奈川県スキ - 連盟  
創立 60 周年記念式典・パ - ティ -

表彰者集計

区分			人 数	参加者	
県連推薦	1. 功労者	退任理事		17名	17名
		専門委員	規約	8名	5名
	広報		6名	2名	
	安対		6名	2名	
	法人		8名	6名	
	教育		16名	7名	
	競技		4名	1名	
	小 計		65名		40名
	優秀選手	技術選		20名	9名
		国体	参 加	19名	8名
入 賞			15名	3名	
小 計		53名		20名	
最優秀選手	国際大会・日本		14名	2名	
合 計		149名		62名	
協会推薦			150名	96名	
合計			299名	158名	

案内状・招待状発送者 9 / 5

役員、協会長、クラブ会長等	330名
招待者 (県教委、県体協、SAJ、北関東、南関東、山梨、静岡等)	120名